

令和8年度第1回 高浜市地域公共交通会議 会議録

I 日時及び場所 令和8年6月15日（月）10時30分～11時20分 いきいき広場1階会議室B

II 出席者 委員 14名（※うち3名代理出席） 事務局 3名

III 議事

1. あいさつ（山崎会長）

- ・高浜市の当会議では、都市交通と生活交通を切り分けて、上手く議論進めている。
- ・公共交通計画は、効率や生産性を意識しすぎて策定するものではなく、まちづくりと連携しながら地域の活性化を図るために策定するもの。

2. 委員紹介（資料1）

3. 議事録署名人の選出

- ・議事録署名人として、山崎会長より、山崎会長及び小笠原委員を指名

4. 議題

【報告事項】

（1）「チョイソコたかはま」停留所の新設について（資料2）

委 員）停留所設置の流れについて説明されたい。

⇒事務局）設置場所検討にあたっては、地域住民等からの要望を踏まえ交通空白地帯を中心に検討を進める。それらを踏まえ、設置場所の地権者や施設管理者と調整・手続き等を確認して設置を進めている。

⇒会 長）設置場所検討にあたっては、目的・目標を意識し過ぎたものにならないように気を付けてほしい。

委 員）会議の目指すところは何か。この場で協議・検討したことを、運行内容に反映してもらえるものなのか。

⇒事務局）今ある人財や資源等を活用して地域公共交通全体の利便性向上を図っていく場。

⇒会 長）この会議は、運行内容を決定等するような権限を有していない。様々な議論・検討をしていく中で、検討結果を事務局が実現可能かどうかなどを確認し変わっていくということはある。

（2）高浜市の地域公共交通の現状について（資料3）

委 員）令和7年の名鉄の利用状況について補足。新型コロナウイルスの影響で、車通勤に移行した者が一部戻っていないと思われるが、全体としては前年を上回っており好調である。

委 員）乗合率を高めるアプローチについてどう考えているか。

⇒事務局）運営事業者、運行事業者及び当市で協議し、AIがルート検索する際のパラメータを調整している。

委 員）予約時に乗り合うことはわかるのか。電話予約の際に、乗合が発生しうる乗り物だと説明があるが、知らない人もいる。周知をしっかりとしてほしい。

⇒委 員) 利用者からは、乗合が発生するかどうかはわからない。ご認識のとおり、コールセンターでその時点での乗合発生について教えることはある。利用者の皆様には、限られた物・時間で運行する乗り物であることは説明している。

⇒事務局) 窓口では、会員登録をする方などに、タクシーとの違いも含めて説明している。

委 員) 到着が遅れて電車に乗れなかったという話を聞いた。どれだけ遅れることを想定しているのか。

委 員) 通院で利用している人が、復路の予約ができずに利用できなかったと言っていた。

⇒委 員) 目安はわかるため、コールセンターでは、電車に乗ることがわかればそれを考慮した時間を提案し予約を受けている。

⇒会 長) デマンド型のバスの、ドア・トゥ・ドアのタクシーや定時定路線と違うウィークポイント。

乗合率が減少したにもかかわらず、利用者数が増加したのは、まだ、乗合により利用者を増やせるキャパシティがあるということ。乗合率アップには、運行の仕様やシステムの変更だけではなく、利用者が歩み寄ることが最も効果的。乗り合ったら安くなるだとかキャンペーンを実施することも一つ手法としてはあり得る。

会 長) タクシーの利用状況について、タクシー事業者様から報告はないか。

⇒委 員) 夜の利用が減っている。

【承認事項】

(3) チョイソコたかはまアンケートの実施について(資料4)

委 員) 利用目的を聞いてみたらどうか。

⇒事務局) 設問1で追加したい。

委 員) 今般は、アクティブ会員に向けてのアンケートだが、機会があれば、未利用者に向けてもアンケートをとってほしい。どんな人が、どういう理由で使っていないのかわかれば、利用促進の改善策の参考になる。

⇒事務局) 今般のアンケートは、前回のアンケート結果と比較・評価をするために実施。今般のアンケートにおいては、アクティブ会員のみへの配布とさせていただく。

⇒会 長) 今回は、アクティブ会員のみへの配布。次回以降、非アクティブ会員を対象にするか検討されたい。

◆設問1に「利用目的」を照会する設問を追加し、その他は原案のとおりとする旨、出席委員全員の賛成挙手により承認された。

以上